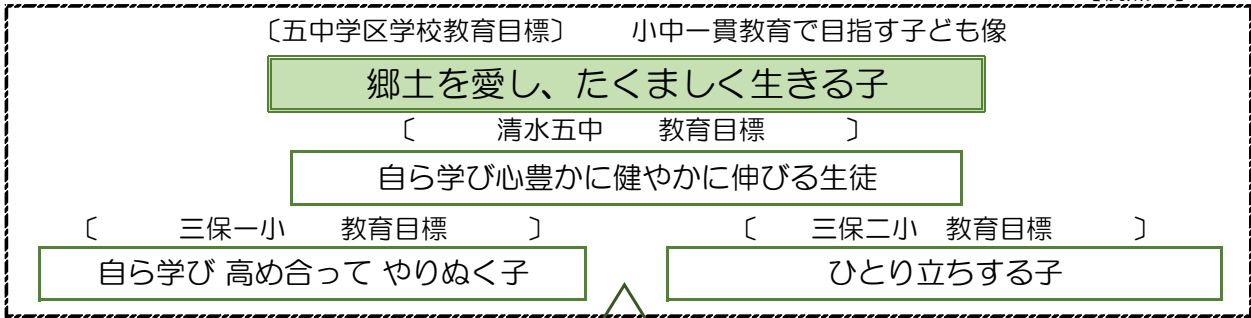


五中学区 小中一貫教育構想図

【視点1】



〔9年間の連続性、系統性を強化した教育課程の編成〕

- (1) 郷土に学ぶ教育活動の展開 **【視点2】**
- ①三保・折戸のよさを感じ、**地域**を大切にすると子
- ・能学習(羽衣まつり)
 - ・折戸なす栽培
 - ・**地域防災訓練への参画**
- ②地域の人と関わり主体的に学ぼうとする子
- ・**三保の松原清掃への参加**
 - ・あかりともるよる
- (2) たくましく生きる子どもの育成
- ①**夢や目標に向かって、粘り強く取り組む子**
 - ②**誰にでも進んであいさつできる子**
 - ③自分の力で解決しようとする子
 - ④確かな学力を身につけている子
 - ・基礎学力の定着

〔協働・交流のある教育〕

- 【視点3】**
- (1) 異年齢交流を推進します
- ①合唱祭(小・中)の開催
 - ②体育祭での小学生参加種目の実施
 - ③小学生部活動体験会の実施
 - ④小学生の中学校体験入学(授業体験会)実施
 - ⑤児童会・生徒会合同企画「あいさつ運動」実施(年3回実施)
- (2) 教職員の合同研修を充実します
小中一貫教育プロジェクト会
- ・小中合同研修会
 - ・各校の校内研修、学校公開への参加
 - ・ICT活用による遠隔授業の研修開催

自己肯定感の向上に基づく、主体性・協働性の伸張

〔小中の一貫した支援・指導の実践〕

- ＜学習＞
- ＜学びに向かう力を育てます＞
- (1)「自主的」から「主体的」に取り組む姿勢を身につかせます。
- ・主体性を生み出すための問い(学習課題・学習問題)を設定します。
 - ・子どもの**実態**や地域の**素材**から授業を構想します。
 - ・**GIGAスクール構想によるICTの有効活用**
- (2)目標を意識した協働的な学習の場を設定します。
- ・問いは、**四角い枠で囲み、子どもがわかるように明示**します。
 - ・相談タイム、ホワイトボードの活用、学習形態の工夫など
- (3)**話す力**、**書く力**、**読む力**を育成します
- ・**9年間の発達段階に応じた力**を育てます。
- ＜生活＞
- ＜自己肯定感を高めよう＞
- ・努力している行為を認め、努力する姿勢や素直さを伸ばします。
 - ・ボイスシャワーを心がけた称揚を推進します。
- ＜コミュニケーション能力を伸ばします＞
- ・気持ちのよい挨拶や**言葉遣い**をします。
 - ・呼名に対して「はい」と気持ちよく返事をします。
 - ・お互いを「さん」付けて呼びます。
 - ・行事の振り返り、お互いの頑張りを確認し合います。
 - ・**思いをわかりやすく伝える力**を付けます。
- ＜課題対応能力を伸ばします＞
- (困っていることを自分で解決する力を付けます)
- ・「困難」を集団で受け止め、話し合いで解決策を探ります。
 - ・継続した努力が解決につながることを体感できるようにします。

【軸となる取組】郷土愛・主体性・協働性を育む三保・折戸学の推進(歴史・文化・防災)

★地域の実態

- ・三保・折戸とも、学校を愛し協力をいとわない地域住民・保護者が多く、学校支援活動やボランティア活動等の協力によって、豊かな教育活動が展開されている。また、「三保セカンドスクール」「おりっこ教室」等、子どもたちを地域で育てようという行事を地域主体で開催するなど、教育に関する自治会組織の関心が高い。
- ・「三保の松原」「折戸なす」をはじめとした価値ある歴史文化、海洋科学博物館・大学・児童館など多様な教育施設等の存在など、多くの学習「材・財」が存在している地域である。同時に、少子高齢化・児童生徒数の減少・防災等の課題もあり、地域と連携・協働しながら、「地域に学び、地域を愛し、地域に貢献する」教育の推進は必須である。
- ・児童生徒および取り巻く環境の多様化が進んでおり、一人ひとりのニーズに対応した教育や、互いを尊重すること・コミュニケーションの力を高めるなど、多様性に関わる課題解決について推進する必要がある。

★地域との連携・協働

- (1)地域行事・活動への参加～参画へ
- ・羽衣まつり ・折戸まつり ・**三保松原清掃** ・地域防災訓練 ・「サンセットコンサート」での吹奏楽部演奏
 - ・青少年育成大会、敬老会等「まちづくり」事業 ・児童館、交流館、みほしるべ、海洋科学博物館等との連携 ・**職場体験学習**
- (2)地域に学び、地域に関わる「総合的な学習の時間」
- ・防災学習 ・キャリア学習 ・海洋学習 ・歴史・文化 ・地域課題
- *準備委員会の立ち上げ
- ・小中一貫教育・学校運営について、地域とともに検討する準備委員会を**定期的**に開催する。**令和4年度**の小中一貫コミュニティ・スクール創設につなげ、持続可能な教育活動の構築をめざす。
- 【視点4】**

★子どもの実態 私たちは、子どもの良さを伸ばし、課題を改善します。

- よさ 自主的に行動できる。素直で真面目。
- ＜学習面＞
- ・やるべきことを自主的にがんばります。
 - ・みんなできがらうとします。(協働性があります)
- ＜生活面＞
- ・進んであいさつができます。
 - ・自己肯定感が高まってきています。 ・規範意識が高まっています。
 - ・温かい人間関係を築けます。 ・掃除が上手です。
- 課題 主体性を伸ばす コミュニケーション力の向上
- ＜学習面＞
- ・主体的に学んだり、継続して努力したりする力が望まれます。
 - ・論理的にまとめたり表現したりする力を付ける必要があります。
- ＜生活面＞
- ・人間関係が固定されがちです。多様な集団の中で活躍できる力が必要です。
 - ・自分の力で解決することを苦手としています。
- ＜地域で＞
- ・地域での活動に消極的になります。地域でも自分からあいさつする態度や、地域行事への積極的な参加を期待します。
 - ・屋内での遊びだけでなく、屋外での体験活動が必要です。

※令和3年度は、感染症対策のため、上記の内容が、変更される可能性があります。